

<プロフィール>

佐々木美歌/ソプラノ

東京藝術大学音楽部卒業。大学の推薦を受け電通育英会奨学金を得て、同大学大学院修士課程および博士後期課程を修了。英米歌曲、特にアメリカ芸術歌曲を中心にディクションの研究を行う。

現在、筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科専任教諭。学部卒業時にアカンサス賞ならびに同声会賞を受賞。

第24回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。

2016年~2019年、長野羊奈子賞、毛利準賞受賞。2016年、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業主催「第66回藝大メサイア」ソプラノソリスト。2018年、三菱地所賞を受賞。

現在、演奏活動とともに、オペラ団体や個人に向か、クラシック・ミュージカル問わず、アメリカ作品のディクション指導も行っている。

高橋基之/テノール

フレーベル少年合唱団で磯部倣氏よりコーラスの手ほどきをうける。筑波大学混声合唱団を創立、初代団長及び学生指揮者。卒業後は、声楽を山本健二氏、移川澄也氏に師事。フォーレ作曲のレクイエムのワークショップ・演奏会をはじめとする様々な合唱指導、合唱指揮を行うとともに、宗教音楽、ベートーヴェン交響曲第九番等のソリストを多数務める。

平成4年、平成23、27年にソロリサイタルをひらき好評を博す。また、NHK全国音楽コンクールをはじめ、合唱コンクール、合唱祭の審査員・講師を多数行っている。

現在、日本合唱指揮者協会会員、全日本音楽教育研究会高等学校部会顧問、東京都高等学校音楽教育研究会参与。

下地直子/ピアノ

沖縄県出身。琉球大学教育学部音楽科卒業。管楽器、声楽などの伴奏の他、子ども、及び大人のための音楽指導を行っている。現在、フレーベルOB合唱団、合唱団フォーレを歌う会等、伴奏者として活躍。アンサンブルガブリエルメンバー。

朝倉麻里亞/メゾ・ソプラノ

都立芸術高等学校を経て、東京音楽大学ピアノ専攻卒業。東京藝術大学音楽部声楽家を経て同大学院修士課程および博士課程後期課程を修了。

ロシア歌曲の発音記号の可能性について研究を行う。在学中、同声会賞、令和2~6年度長野羊奈子賞・2023年度三菱地所賞を受賞。

第29回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール優秀賞を受賞。

藝大定期第389回《小荘巖ミサ曲》、第38・39回「台東第九公演 下町で第九」、第69回「藝大メサイア」にてアルトソリストを務める。

これまでに声楽を永井和子、中島郁子、平山初喜の各氏に師事。

青山弘昭/バリトン

1960.06.12 東京生

都立芸術高校、東京芸術大学大学卒
大学在学中から今まで、約5000ステージのオペラ、ミュージカル、芝居等に出演
1985年~現在、ヴォイストレーナーとして声を使い続けなければならない現役の歌手・役者の指導にあたる

企画・制作 TO-DO代表

蒼山オペラアカデミー (AOA) 主宰

Banda LUZ DO SOL 主宰

妻屋秀和/バス

東京藝術大学、同大学院修了。1992年よりイタリア、ミラノに留学。1994年から2001年までライプツィヒのライプツィヒ歌劇場、2002年から2011年までワイマールのドイツ国民劇場専属。

今までに出演した主要な歌劇場はベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、デュッセルドルフ・ライン・ドイツ・オペラ、新国立劇場等。欧州、日本でモーツアルト、ロッシーニ、ヴエルディ、ブッチーニ、ワーグナー、R. シュトラウス等のオペラの主要な役を多くの著名な指揮者、演出家、歌手と共に演。これまでに出演したオペラは80余作、演じた役は100役、公演数は1000を超える。恵まれた体躯と深みのある柔らかな歌声と重厚な演技で舞台上において圧倒的な存在感を醸し出している。

オペラのみならずオーケストラコンサート、宗教曲のソリストとして、また経験に基づいたマスター・クラスなど教育活動にも取り組んでいる。第24回ジローオペラ賞受賞、第3回ロシヤ歌曲賞受賞。第72回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2024年紫綬褒章受章。

宮脇臣/テノール

東京藝術大学声楽科卒業後、イタリア・シリニアにて活動。帰国後は二期会に所属し、オペラや宗教曲のソリストを務めた。

現在は、母校で事務員を務めている。

アンサンブル・パウロウニア

茗渓創基150周年の記念祝賀に向けて結成された合唱団。



広告エリア